

郡上市高鷲町鮎走白山神社-泰澄大師のぼり-

奥の森宮-お日まち岩ツアーのご案内

主催 「たかす自然文化」保護研究会

1. 日時 平成25年9月18日(水) 9:00~11:30
9:00 鮎走白山神社集合(郡上市高鷲町鮎立大洞地区)

2. ツアー内容

鮎走白山神社 → 泰澄大師のぼり説明 → 奥の森宮白山神社跡 →
ご縁瀧(滝)・さざれ石 …→ お日まち岩

3. その他

誰でも当日参加できます。参加費無料。連絡先 080-6970-2702
午後から鮎走白山神社の祭礼を見学できます。



郡上市



- ① 奥の森宮白山神社跡
- ② お日まち岩
- ③ 鮎走白山神社
- ④ 神道地区
- ⑤ 国道156号線
- ⑥ 長良川



会場



奥の森宮白山神社跡

ツアー周辺(高鷲町大洞・神道地区)地図



ご縁瀧(滝)



さざれ石(3m)



お日まち岩



泰澄大師のぼり(4m)

奥の森宮白山神社跡：元正天皇の時代、養老年中、泰澄大師白山開山の際、此处を霊場として宮を建立したと伝えられている。内宮(奥の森宮)、外宮(口の宮)があり奥の森宮には7堂伽藍があり神仏習合の社僧と別当、神主をおき、社務所があった。神社由緒書には養老年(717年)神社創建とある。

泰澄大師のぼり：泰澄大師がこの地からの白山開山を試みたときに、地元の助兵衛というものが道案内をして「なた」「かま」「おの」を用意して登った。その時これに困んでこののぼりが作られた。代々大切に受け継がれてきたものである。

お日まち岩：白山神社北側の裏山に四方2mの天狗岩という岩がある。東南に面して開けており、のぼる太陽の眺めが良いところであり、昔お日まちをしたところと伝えられている。お日まち様といってお供え物を用意して日の出前にその場所に集まって太陽を拝むのである。これは古代(縄文時代から)の太陽神信仰(自然崇拜の信仰)と考えられる。

泰澄大師：泰澄(たいちょう、天武天皇11年6月11日(682年7月20日)~神護景雲元年3月18日(767年4月20日))は、奈良時代の修験道の僧。加賀国(当時越前国)白山を開山したと伝えられる。越の大徳と称された。